



黒埼町体育協会―知っているますか。体育協会は町で開かれるほとんどのスポーツ大会の後援、共催をしたり、各体育団体を援助したりしています。いわば、黒埼町のスポーツの中心、母胎であるわけです。

この体育協会が発足したのは昭和二十三年。三十年には文部大臣表彰を受け、三十九年の新潟国体で本町がウエイトリフティング会場となった時は、大活躍しました。他にもスポーツと名のつくものにはすべて中心となって活動し、多くの功績を残しています。



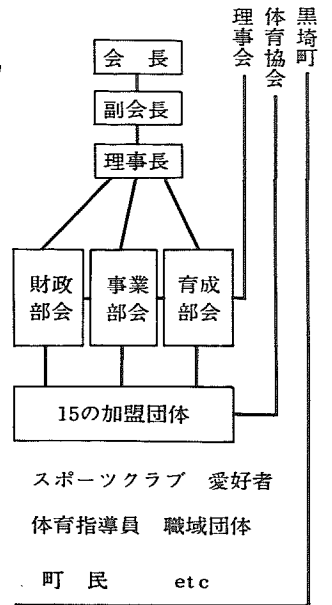
スポーツ技術の向上を目ざし、また人間交流の場でもありました。しかし、新潟国体を境にして昭和四十年代に入るとその活動は、青年団や婦人会とともに停帯化していききました。町の姿ほうや住民意識の多様化に対応できなかつたからです。

昭和五十四年、体育協会の長年の功績に対し、町は社会教育優良団体として表彰しました。しかし、残念ながら体育協会には昔の力はなく、近年はその活動も名目的なものになってしまいました。

正し、生まれ変わろうとしていきます。『新生』体育協会は①組織の強化と②組織の自立を目標としています。

①組織の強化―右下図のとおり、十五の加盟団体から役員を選出し、三つの部会(財政、事業、育成)を運営します。それぞれを会長、副会長、理事長が指導しまとめていくわけです。また、加盟団体以外のスポーツクラブやレクリエーションセンター、体育指導員などの意見も広く反映します。

②組織の自立―大会開催や組織の運営を行政にのみ任せず、自から積極的に企画運営していきます。さらに、運営方法も今までの慣例や概念などにとらわれず自由な発想で新しい方法を求めていきたいものです。このように、行政と過去から独立するわけです。



現在、体育協会には十五の町のスポーツ連盟や団体が加入しています。総加入者数は千八百三十人(三ページの表を参照)。

そして、各加盟団体の活動はとも活発です。大会の開催や練習、初心者指導の教室など自目的に行っています。

この各団体同士の連絡を密にすることが体育協会の目的です。また、加盟団体単独ではできない事業(例えば県大会や講師の招待など)や対外的な折衝(対外試合など)を行います。

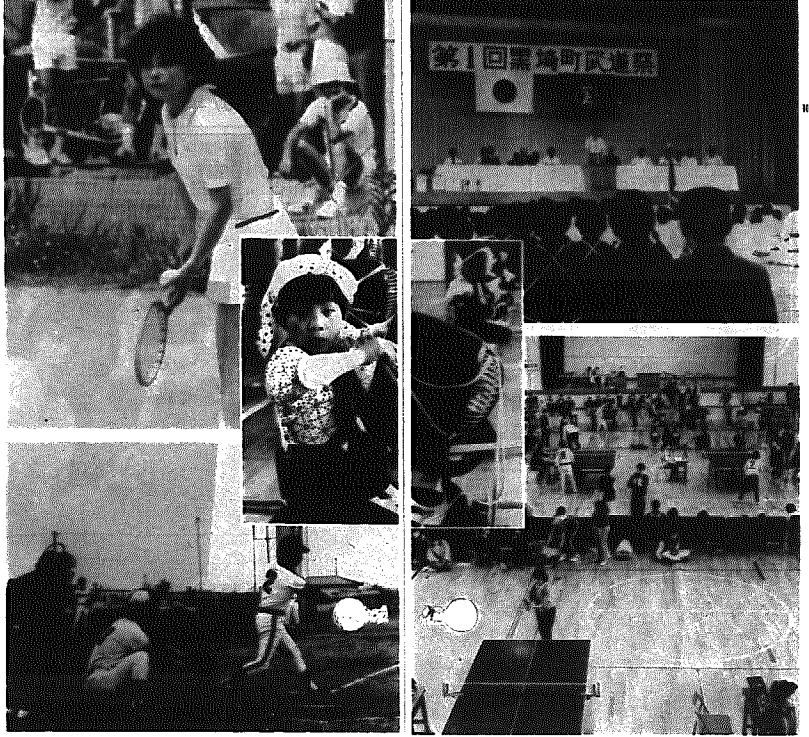
昨年は五つの武道団体が集まった「第一回黒埼町武道祭」を主催(昨年度唯一の主催)しました。今年もこの武道祭は七月十一日に予定されています。

今年度の体育協会の年間予算は三十三万九千円(内二十万圓は町助成金)。この予算だけに頼ってはおのずから限界があります。そこで、各加盟団体や加入者の積極的な参加と行動が必要となります。また、理事会の指導も大切です。

すべては黒埼町をスポーツとおして明るく住みやすい町にすることが目的です。そのためにも、黒埼町体育協会に一肌も二肌も脱いでもらいたいものです。

はます 体育協会

頼りに 新生 黒埼町



体育協会の発展を願う



黒埼町体育協会 会長 鈴木 昭

黒埼町体育協会は、町の各種体育団体や体育愛好者の連絡を図り、町民体育の普及と発展に寄与することを目的として活動している団体です。

黒埼町は昔からスポーツの盛んな町で、戦前、戦後にわたり陸上、相撲、レスリングなどに多くの優秀な選手を輩出してきました。その原動力となったのが体育協会であり、昭和三十年には文部大臣表彰という輝かしい伝統も残されています。私は、これら先輩各位に深く敬意を払い、後輩としても誇りに思っております。

さて一九六〇年代を境にスポーツ環境も大きく変わってきました。経済の高度成長に伴い生活が豊かになり、労働条件の改善によって余暇時間が多くなりました。スポーツ人口は飛躍的に増加しました。わが町も例外ではありません。

スポーツが大衆化されると、社会教育の一環として重要視され、健康づくりの有力な手段として奨励されるようになります。行政の責任で地域スポーツの普及が図られ、社会体育の専門家が配置され、体育施設の整備、指導者の養成が真剣に行われるようになったことは当然であり、喜ばしいことである。

ところが、行政がスポーツに乗り出すと、財政力が弱くボランティアに頼らざるをえない体

育協会の存在意義や役割に変化が起こり、活動が以前よりも低下したことはやむをえなかつたのかもしれない。

今後、子供から老人まで、男女を問わずスポーツ人口はますます増加するでしょう。地域住民の要望に応え、スポーツ活動の健全な発展を実現するために、どのような方法がよいのか、はどのような方法があるのか、おおいに議論のあるところで、自身も答えをもっていない。

体育協会にもそんな力はありません。また、行政の力だけでも不可能だろうと思えます。民間のスポーツ愛好家、体育指導者らのボランティアな協力が絶対必要であると思えます。

行政と体育協会の密接な協力こそ、地域スポーツ発展の必須条件であると信じております。ですから、体育協会の充実発展



団体名	団体長	育成部会	財政部会	事業部会	人員
銃剣道連盟	武田武夫	外山文衛	○安藤忠治	谷内田正一	57
バドミントンクラブ	鷲尾吉夫	山崎芳一	佐藤文良	武田正兄	32
相撲協会	高池橋清	小島茂行	小井純一	武田正光	16
山の会	高池橋清	浅妻茂行	桜井純一	宗村努	19
ウエイトリフティング協会	高橋吉雄	鳴海丈支	高橋吉雄	鈴木国定	6
卓球連盟	小泉年助	太田喜一郎	渡辺代一	藤橋雅助	40
剣道連盟	小泉年助	長谷川和義	渡辺代一	○小橋一	165
空手道クラブ	小泉年助	長谷川和義	渡辺代一	小橋一	33
柔道連盟	○渡辺重夫	霜鳥芳男	江端明夫	安田輝行	79
野球連盟	☆鈴木利秋	丸山秀一	白井弘一	笹川英雄	892
木場体育協会	武尾健一	小江直一	阿部敬一	谷部一	175
黒鳥体育協会	鷲尾健一	○岡田幸一	阿部敬一	江十嵐	100
板井体育愛好会	藤野勇	○岡田幸一	阿部敬一	江十嵐	70
陸上競技協会	○内藤隆充	白井院	鷲尾勲	渡辺寛	46
庭球協会	法龍院	法龍院	小橋一	林甲子	100

☆会長 ◎副会長 ○部会長(その他に副会長・逢坂 茂、理事長・田辺健)